認知症家族会
オリーブ通信

2024年3月

スタッフからのご挨拶

認知症家族会「オリーブ」では毎月１回　認知症方と一緒に頑張っておられるご家族の方が集まって皆さんでお話をしたり、情報交換をしたりという場を提供しています。
テーマがあったり、講義を聞いたりということではなく、フリートークで行う家族会です。
前回の集まりから１か月間にあったことの中から、それぞれがお話されます。
困ったこと、疑問点をこの場で話すことで、少し前進できる、そんな場になっています。
傾聴、共感、寄り添い。
そんな仲間同士のつながりの中で、一緒に考え、一緒に悩み、自分に置き換えてそれぞれがふりかえってみる。
そんな時間を持つことで、自分だけじゃない、みんな大変だけれど頑張っている。自分も頑張ろうと、少し元気になって、次に向けて進める。そんな場所が「オリーブ」です。お気軽にご参加いただければと思います。

日時：毎月第3金曜日 13:00-17:00
場所：高台協働センター 1F 児童室

参加者の声

認知症の奥様を介護されている８８歳男性
だんだん症状が進んできて、自分一人での世話が大変。
ストレスがたまって、もうたまらないと思う時がある一方で、１％くらい、ああよかったと思うとお話ししてくださいました。
それは奥様が就寝されて布団をかけてあげるとき。
寝顔を見て、頑張って介護できてよかったと、嬉しい気持ちになるそうです。
どんなに大変でも大事な人を介護するということは、こういうことなのかな。
なんだか心にじんと来ました。

お母様を介護されている６０代男性
お母様は介護５。使えるサービスをうまく使い、在宅と施設利用を組み合わせての介護をされています。ネットや、本などから得た様々な情報を毎回皆さんに伝えてくださいます。
介護グッズ、介護のやり方、（食事の与え方や、排せつについてなど）などをみんなで共有することで、困っていたことが簡単に解決した例もあります。